



# ももの実



玉北中 校長だより 63

「先生の夏休み。」号  
令和7年10月8日(水)

## 地元で社会科見学をしたよ。

例年、夏休み期間中には市内の社会科教員が集まり、工場見学等の研修会を行っています。日ごろ見ることができない施設を訪問できる貴重な学びの機会となっています。今年度は8月6日(水)の午後、玉島乙島にある**中国電力(株)玉島発電所**を訪問しました。本校からは私(石井)と**土井勇輝先生**が参加しました。

最初に、全体会にて施設概要の説明がありました。皆さんは発電の仕方にはどのようなものがあるか知っていますか？**水力・火力・風力・波力・太陽光・地熱・原子力・バイオマス**等多様です。玉島発電所は、1971年に火力発電所として操業を開始しました。そして73年までに3つの発電機をもつに至りました。発電出力は120万kWで、これは**岡山県内で使われる電気の約50%**に相当するとのこと。玉島発電所は**県下最大の発電所**だそうです。現在、関連会社と併せて約180名の職員の方がこの施設で働いており、24時間、交代で発電や送電をコントロールしています。

次に施設見学です。屋内の大きな発電機を見た後、**地上50m**の屋上へ。高所恐怖症の私にとっては階段を上る一步一步が恐怖でした。でも屋上には絶景が広がっていました。高さ**約230m**を誇る2本の**煙突**、火力発電を支える巨大な**燃料タンク**、タンカーが接岸し石油を工場内に運びこむ施設、少し離れたところには新しくなった**玉島環境センター**も見えました。怖くても上がってきた甲斐がありましたよ。

最後に、もう一度全体が集まり質疑の時間。例えば、「この施設の発電機はとても長い間使っているようだが、あとどのくらいの期間使うことができるのか？」→【10年に1回大規模なメンテナンスをしている。これを続けることで何年でも使える。】「今後の火力発電のあり方について、会社としてどう考えているか？」→【2050年までにカーボンニュートラル(温室効果ガスの排出量を、実質ゼロにする取組)に向けたロードマップ(目標達成までの手立て・道筋)はできている。カーボンを減らす努力をしていく。】等の質問が寄せられました。

本施設は**5人以上**であれば、予約して見学が可能とのこと。迫力の施設見学と分かりやすい解説が魅力です。大切なライフラインについて考える機会をもてはいかがでしょうか。

